

環境にやさしいコンニャク根腐病の防除

研究のねらい

コンニャク栽培に甚大な被害を及ぼす根腐病対策としては、クロルピクリン剤を中心とした土壌くん蒸剤による土壌消毒が行われています。

一方で、現在、環境に配慮した防除体系への転換が求められています。

そこで、土壌くん蒸剤ではない薬剤であるアミスブルプロム水和剤（商品名：オラクル顆粒水和剤）の効果および、シラネコムギまたはオオムギ（商品名：百万石）を利用した耕種的防除法であるムギ類全面散播被覆栽培との組み合わせによる防除効果を検討しました。

技術の特徴

1 アミスブルプロム水和剤処理とムギ類の全面散播被覆栽培を組合わせた以下の防除対策を行うことで、それぞれの単独の処理よりも防除効果が高まり、根腐病の発病を大きく抑制できます（図1）。

また、本剤を処理しない場合と比較して、収穫球茎重が高まります（図2）。



写真 アミスブルプロム水和剤とムギ類全面散播被覆栽培との組合わせ処理（植付け44日後）

- 2 アミスブルプロム水和剤は、コンニャク植付前に10 a 当たり500 g を水100 L に希釈し土壌全面に散布後ロータリー等で混和します。
- 3 植付けるコンニャク種芋の重量は100 g 以上とし、植付後にシラネコムギまたはオオムギを10 a 当たり6 kg 全面散播し培土します。

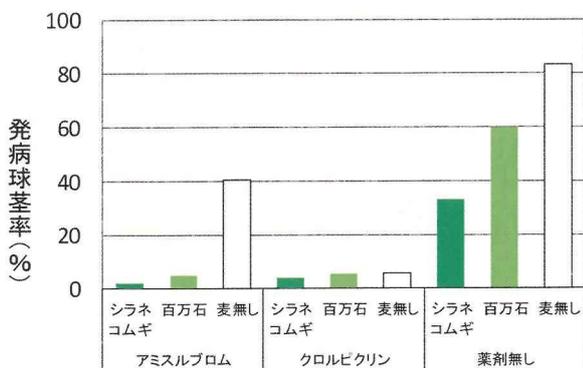


図1 コンニャク根腐病に対する防除効果 (発病球茎率, H27年)

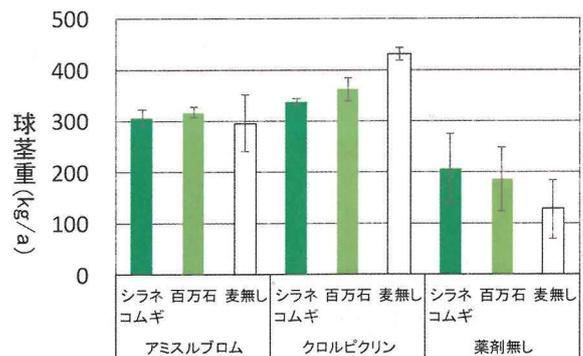


図2 コンニャク根腐病に対する防除効果 (収穫球茎重, H27年)

今後の取り組み

普及指導機関等と連携し、本技術の導入を進め、土壌くん蒸剤によらない環境に配慮した根腐病防除対策を推進します。

(執筆者：酒井 宏)